

7. 参加者名 (70名)

	参加者氏名	所属
1	Nurhasan	東工大
2	T.Harinarayana	National Geophys. Res. Inst., Hyderabad
3	上嶋 誠	東大・地震研
4	氏原直人	東工大
5	宇都智史	京大・防災研
6	大志万 直人	京大・防災研
7	小河 勉	東大・地震研
8	小川康雄	東工大
9	久保綾子	京大・防災研
10	桑場吉紘	鳥取大
11	小山 茂	東大・地震研
12	坂 守	東大・地震研
13	瀬野徹三	東大・地震研
14	芹澤正人	東大・地震研
15	田中嘉一	鳥取大
16	谷川大致	神戸大
17	谷元健剛	北大
18	西谷 忠師	秋田大
19	西田泰典	北大
20	西原正典	鳥取大
21	野口竜也	鳥取大
22	原田 誠	東海大
23	藤田清士	神戸大
24	望戸裕司	鳥取大
25	本蔵義守	東工大
26	真鍋典子	鳥取大
27	村上英記	高知大
28	茂木 透	北大
29	山口 覚	神戸大
30	山崎健一	京大・防災研
31	山谷祐介	北大
32	宇津木充	京大
33	下泉政志	九州職業能力開発大学校
34	笠谷貴史	海洋研究開発機構
35	吉村令慧	京大・防災研
36	吉野登志男	

37	橋本武志	北大
38	後藤忠徳	海洋研究開発機構
39	行武 毅	
40	高宮弘幸	九州職業能力開発大学校
41	高倉伸一	産総研
42	佐藤数美	九州職業能力開発大学校
43	佐柳敬造	東海大
44	笹井洋一	東京都総合防災部
45	市來雅啓	海洋研究開発機構
46	松本和也	九州職業能力開発大学校
47	松野哲男	神戸大
48	植田義夫	海保大
49	新貝雅文	九州職業能力開発大学校
50	神田 径	京大
51	清村哲一郎	九州職業能力開発大学校
52	生駒 良友	気象庁
53	西留紳也	九州職業能力開発大学校
54	石井勇太	九州職業能力開発大学校
55	石戸経士	産総研
56	石川良宣	
57	相澤広記	東大・地震研
58	多田訓子	神戸大
59	大久保 寛	秋田県立大学
60	真田佳典	京大
61	竹内伸直	秋田県立大学
62	中島崇裕	JNC東濃
63	長谷英彰	京大
64	長尾大道	JNC東濃
65	長尾年恭	東海大
66	田中良和	京大
67	藤 浩明	富山大
68	馬場聖至	海洋研究開発機構
69	野田洋一	東海大
70	和田拓朗	九州職業能力開発大学校

8 . 研究実績報告 (成果)

東京大学地震研究所共同利用研究集会「地球電磁気学諸問題の探求」(課題番号 : 2004-W-11) を東京大学地震研究所において 12 月 21 日より 22 日までの 2 日にわたり実施した。この研究会集会の目的は、今日課題となっている地球電磁気学分野の諸問題についてこの分野の研究者相互の理解をより深めること、さらにこの分野に関連し関心を持っている異分野の研究者との間に共通認識を築き今後の研究発展の糸口を発見することにあった。参加者は地球電磁気学分野の研究者を中心に 70 名におよび、2 件のレビュー講演と 29 件の論文発表が行なわれ、異分野の研究者からも多くの質疑が出され活発な議論がおこなわれた。

本研究集会では、地球電磁気学的手法による地殻内流体の存在やその移動の探査を中心テーマとした。これらの研究の重要性が、地震発生に関連する多くの研究分野で認識されるようになってきたこの時期に、研究者相互にこれまでの成果と問題点について共通認識を持つことは有意義である。これらの研究対象や手法は多岐にわたるので、問題を整理し共通認識を持つことを目的に 2 件のレビュー講演をお願いした。一つは、「地震発生領域と比抵抗構造」と題して日本のみならず世界各地での探査例とその物理的解釈が報告された。もう一つは、海域での地球電磁気観測や比抵抗構造探査の成果と問題点が「Electromagnetometry at the Seafloor – An Overview」と題して報告された。また、これらのレビュー講演に関連する話題として、近年、地震学分野で注目されている低周波地震・低周波微動が観測されている地域や歪集中帯の比抵抗構造に関する予備的な報告や、東海地震や東南海・南海地震の震源域として今後研究を進めなければならない海陸境界域での観測、新しい観測手法の開発や解析上の問題点などに関して報告がおこなわれた。その他に火山に関わる研究や能動的な電磁気モニタリングや地球電磁気の新しいデータ処理方法に関する発表もおこなわれた。議論の中で、今後の研究課題や他分野と協調して研究すべき課題などが共通認識となり今後の展開が期待される。

なお、本研究会にて発表された論文の幾つかは別途学会誌等に公表される予定である。

最後に、この研究会の実施にあたりお骨折りをいただいた東京大学地震研究所の方々にお礼申し上げます。